

御挨拶

国際交流推進室ニュース第10号をお届けします。年2回の発行で、今号が10号となりました。1号発行から数えて5年を迎えたこととなります。近頃は「グローバル人材」というキーワードが大学でも企業でも、盛んに使われ、「国際的に活躍できる人材の育成」に注目が集まっています。信州大学の中でも早くからグローバル化に力を注いできた繊維学部においては、その成果が少しずつ見えてきております。本号においても、その活躍ぶりの一端をご紹介できればと思い、以下にご報告をさせていただきます。より一層の皆様方からのご支援・ご協力をお願い致しますとところでございます。

ダブルディグリープログラム 留学報告会

2014年11月、フランス国立繊維衣芸工業高等学院(ENSAIT)での2年間の留学を終えた大学院生(修士課程)の石川達也さんによる留学報告会が行われました。ENSAITの授業や研究の内容、海外生活の経験談や苦労話など多岐にわたって報告していただきました。報告会終了後は参加した25名ほどの学生・教職員からたくさんの質問があり、終始活発なやりとりが続きました。留学を検討している学生にとっても貴重な機会となりました。



海外留学説明会のようす



下坂国際交流推進室長と石川さん

上田キャンパス英会話サロンのスタート

2014年6月より、上田キャンパス在籍学生向けの英会話サロンを開始しました。留学生と日本人学生が毎週木曜日の昼休み時間を利用して、英語で自由に会話を楽しんでいます。英語が得意でも不得意でも、参加して楽しかったという感想が多く聞かれました。



前期最後の英会話サロンでの記念写真

新しい交流協定の締結

2014年7月にモロッコ繊維衣料工業高等学院、スウェーデンのポロース大学繊維学部と、9月にスロベニアのリュブリャナ大学自然科学部と、11月に中国の武漢紡織大学紡織工学院との間で学部間交流協定を締結いたしました。繊維学部は、現在56の大学・研究機関と交流協定を締結しており、今後もより一層幅広い交流が実現できるよう国際交流を推進していきます。

留学生研修旅行の実施

2014年9月11～12日、留学生研修旅行を実施しました。今年度は、留学生15名、引率職員2名が参加し、宮城・福島県方面に一泊二日で行きました。鶴ヶ城天守閣、瑞巖寺を見学し、南三陸町の被災場所などを視察しました。南三陸町の防災対策庁舎を見学したときは涙ぐむ留学生もいました。移動中は雨が降る中、見学中は一度も雨に邪魔されることなく、留学生の交流も深まり、有意義な時間となりました。



鶴ヶ城の前にて全員で記念写真

繊維学部留学生の動向

本年の9月24日に秋期の学位授与式が開催されましたが、留学生には該当者がありませんでした。また、10月には1名の修士課程学生と、9月から11月には7名の研究生が入学しました。研究生として入学した留学生は、いずれも、2015年度の大学院進学を目指しており、日本語補講へも積極的に参加し、日本語の上達には目を見張るものがあります。これで、11月現在の繊維学部(修士課程、博士課程、研究生等)の留学生の総数は48名となりました。

繊維学部への留学状況(課程と出身国)

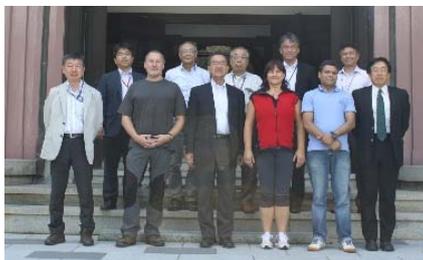
博士課程	13	中国	37
修士課程	12	韓国	3
学部	11	マレーシア	5
研究生等	11	モンゴル	1
特別聴講学生	1	フランス	1
計	48	ドイツ	1
			48

小諸市にてベトナムインターンシップ報告会を開催

2014年10月、小諸市のベルウィンこもろにて、ベトナムインターンシップに参加した繊維学部および工学部学生の報告会が行われました。本インターンシップは、小諸市産学官連携協議会の支援を得て行うもので、昨年に引き続き2回目となります。9月15日から19日まで、小諸市の(株)ユウワの全面的な協力を得て、(株)ユウワのベトナム工場での実習のほか、他の企業の工場見学やホーチミン工科大学学生との交流などを体験しました。繊維学部から参加した学生4名(学部1名、修士課程3名)が現地体験したことや学んだことなどを発表しました。

チェコ共和国リベレツ工科大学 Militky 教授一行が表敬訪問

2014年9月、繊維学部の学部間交流協定校であるチェコ共和国のリベレツ工科大学から Jiri Militky 教授、Dona Kremenkova 准教授、Rajesh Mishra 准教授に表敬訪問いただき、今後の学術交流について意見交換を行いました。



Prof. Militky 一行との記念撮影

国際交流推進室 室員紹介

下坂 誠(室長、生物機能科学課程)
平林公男(副室長、生物資源・環境科学課程)
金 翼水(副室長、機能機械学課程)
鮑 力民(機能機械学課程)
ハニウッドマイケル(感性工学課程)
平田雄一(応用化学課程)
金井博幸(先進繊維工学課程)
福長 博(材料化学工学課程)
パタキー トッド(バイオエンジニアリング課程)
キャシー マクナミー(応用化学課程)

編集後記

先日、ニュージーランドで開催された繊維工学に関する国際シンポジウムに参加した際、繊維学部との交流協定校から参加した多くの研究者と話す機会があった。その中には、協定校から繊維学部へ留学し、博士号を取得した研究者がおり、楽しそうに思い出話をする様子が印象的であった。国際交流に対する繊維学部の不断の取り組みの成果を実感するひとときであった。

(2014年師走)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆ 国際交流推進室ホームページ ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>